

他者の世界に触れ

様々な感情と情景に足を踏み入れる

知る事の豊かさは

複雑な層を成し

時に私たちを悩ませ 宙ぶらりんにさせる

ゆらぎ、迷い、懐疑のなかに留まる

答えを出せないところから生まれる可能性と

そこに宿る人間性を見つめる

nosmosis research 2024 vicarious

ダンスをコミュニケーションツールとして、環境 / 立場 / 世代 / 性別を超えてあらゆる人との対話を試みた2年にわたるリサーチを、湯浅永麻がチジャ・ソン、宮井優と共にダンス作品として発表します。タイトルの vicarious (ヴィケリアス) は「他者の経験を自分のものののように感じる」という意味。ワークショップやインタビューの対話から生まれた共感性・矛盾などをインスピレーションに、消化しきれない現状の中で生きる私たちの深層を身体へと映し出します。

湯浅永麻 (Ema Yuasa)

ダンサー・振付家。ネザーランドダンスシアターに11年間所属。2016年にフリーとなり様々な著名アーティストからのオファーを受けダンスや演劇など世界中で公演する一方、自らもジャンルを超えた数々のアーティスト達とのコラボレーション作品を発表。第13回、15回日本ダンスフォーラム賞を受賞。

<https://www.emayuasa.com>



Jija Sohn (チジャ・ソン)

パフォーマー・振付家。米国で応用言語学を学んだ後、2015年にオランダのSchool of New Dance Development (SNDO)を卒業。日本ではDance New Air 2020->21で短編映像作品『Landing on Feathers』を発表。近年はヨーロッパの移民コミュニティと共に、対話を用いた作品制作など、多岐にわたり活動する。

<https://www.jijasohn.com>



宮井優 (Yu Miyai)

映像ディレクター。和光大学在学中にドキュメンタリー表現に関心を持つ。卒業後、報道番組制作プロダクションに入社し、2011年に独立。これまでに、医療・原発事故・マイノリティに関するドキュメンタリー番組の企画制作に携わる。nosmosis researchの意図に共感し、2023年よりプロジェクト全体の記録映像を担当。



■公演日:

2025年1月 16日(木) 19:00 18日(土) 14:00・18:00
17日(金) 19:00 19日(日) 14:00

■会場:

ゲート・インスティテュート東京 (東京都港区赤坂7-5-56)

■チケット:

一般=¥4,000

U24/O65/港区在住・在学・在勤=¥3,500

在留カード*/障害者手帳お持ちの方=¥2,500

*割引対象の方は当日受付にて証明書をご提示ください。

チケット 発売開始: 2024年11月15日(金)

チケット (Peatix): <https://nosmosis2024-perf.peatix.com>

*The explanations in English are available on the ticket page.

主催: nosmosis 実行委員会

助成: 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京[芸術文化による社会支援助成]、公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団 [Kiss ポート財団]、オランダ王国大使館

協力: ゲート・インスティテュート東京、SHIBAURA HOUSE

リサーチ・クリエーション: 湯浅永麻、チジャ・ソン、宮井優

振付: チジャ・ソン、湯浅永麻 / 出演: 湯浅永麻、他予定

技術: 遠藤豊 (LUFTZUG) / 照明: DOTWORKS

サウンドデザイン: 佐藤公俊 / 映像演出・記録撮影: 宮井優 / 宣伝美術: 林琢真

図版: 中村亮一 / 制作: 元行まみ / 制作協力: 宮久保真紀

詳細: <https://www.emayuasa.com/#nosmosis>

お問い合わせ: info.nosmosis@gmail.com

080-7856-0120 (平日 11:00-18:00)

● nosmosis research について

湯浅永麻を中心に2021年から始動。ワークショップやダンスクラスなどの身体表現の場を通して、違いを持ったもの同士が関わることで生まれた気づきから、視野を拓け、思考する場を目指しています。

nosmosis (ノスモシス)

nos=ラテン語で“わたしたち”の意

N.O.S=Not Other Specified (どこにも特定されない)

osmosis=浸透する

